

# 音声収録作業の概要

籠宮隆之†

† 国立国語研究所

Version 1.1

## 目次

1 はじめに	1
2 収録機材と記録	1
2.1 収録機材	1
2.2 記録票	1
2.3 アンケート	2
3 講演の種別と解説	2
3.1 学会講演	2
3.2 模擬講演	2
3.2.1 収録スタジオ	2
3.2.2 収録スタッフ	2
3.2.3 模擬講演のテーマ	2
3.2.4 講演者	3
3.3 その他	3
3.4 朗読	3
3.4.1 朗読の種類	3
3.5 対話	4
3.5.1 対話の種類	4
3.5.2 収録スタジオ	5
3.5.3 インタビュアー	5
A 付録:朗読の原稿	6
B 付録:対話の資料	11

## 1 はじめに

本文書では、『日本語話し言葉コーパス』に収録された音声の収録作業について概説する。

## 2 収録機材と記録

### 2.1 収録機材

全ての講演において、講演者の音声はマイクロフォンを通じて DAT に収録した。DAT への音声の入力は、サンプリング周波数 48kHz、量子化ビット数 16bit で行った。マイクロフォンは、講演者の唇とマイクロフォンとの距離を出来るだけ均等に保つためにヘッドセット型のマイクロフォンを使用した。DAT デッキとマイクロフォンの接続は、殆どの場合は DAT デッキのマイクロフォン端子を通じて接続した。ただし、対話および講演種 M01, M03 では、ミキサーを介して DAT デッキのライン入力端子を通じて接続した。使用した機材は表 1 の通りである。

表 1: 収録に使用した機材

マイクロフォン	CROWN CM-311a
DAT デッキ	SONY DTC-ZA5ES, SONY DTC-10, TCD-D10PRO-II, SONY 59ES
DAT デッキ (対話用)	SONY DTC-A8
ミキサー (対話用)	SONY SRP-X6004

どの機材を使用したかは、記録票データ (talk\_data.csv) に記してある。

### 2.2 記録票

講演収録の際に、使用機材、録音状況 (会場のノイズの有無、聴衆の数など)、講演の印象 (速い、発音の明瞭さなど) を収録作業者が記録した。このうち、講演の印象に関する項目は、講演の予定時間の半分か過ぎた時点でそれまでの印象を振り返って記録した。これらの記録票のデータは、記録票データ (talk\_data.csv) に記してある。

## 2.3 アンケート

講演に先立ち、講演者に対して『日本語話し言葉コーパス』への音声提供を認めるかどうか、承諾をとった。音声提供を認めた講演者には、性別、生年月日、出身地、学歴等に関して簡単なアンケートに答えてもらった。これらのアンケートデータは、記録票データ (talk data.csv) または講演者属性データ (speaker data.csv) に記してある。

## 3 講演の種別と解説

### 3.1 学会講演

学会講演は、実際に行なわれている学会での講演を、講演者と学会に承諾を得た上で録音したものである。録音環境は、収録会場等の状況により必ずしも良好なものではない。収録に際して何らかの不都合が生じたような場合は、収録作業者がその旨を記録票に記入した。その他、定常的なノイズの発生や会場の音環境などは、記録票データ (talk data.csv) に記してある。

収録した学会は以下の学会の通りである。以下のリストのうち、A01～A13の値は、『記録票データ・対話記録票データ・講演者属性データ・対話参加講演者の講演一覧の解説』(data\_attribute.pdf) で述べられている、講演の種別等を表わす講演 ID の先頭 3 文字である。なお、幾つかの学会は複数年に渡って継続して収録した。

- A01 工学系学会 1 (音声関係)
- A02 人文系学会 1 (日本語関係)
- A03 工学系学会 2 (自然言語処理関係)
- A04 工学系学会 3 (人工知能関係)
- A05 人文系学会 2 (音声関係)
- A06 人文系学会 3 (社会言語学関係)
- A07 社会系学会 1 (心理、統計、行動科学など)
- A08 人文系学会 4 (国語教育関係)
- A09 社会系学会 2 (社会学関係)
- A10 工学系学会 4 (音声関係)
- A11 工学系学会 5 (融合研究主催ワークショップ)
- A12 工学系の研究会
- A13 国語研内での研究会

### 3.2 模擬講演

模擬講演は、本コーパスへのデータ提供を目的として、主に人材派遣会社から派遣された講演者が行なう 10～15 分程度の短いスピーチである。

一定かつ良好な音環境で収録するため、収録場所は国語研内の録音スタジオを用いた。講演内容は、1) 講演者に大まかなテーマ(「人生を振り返って楽しかったこと、嬉しかったこと」など)を与える。2) 講演者は、そのテーマに則って詳細な内容(「楽しかったヨーロッパ旅行」など)を考える。という形式をとった。ただし「テーマなし (S00)」に関しては特定のテーマを指定せず、自分の選んだ話題で講演の準備をさせた。なお、講演者には簡単なメモ程度のものを見ながら講演するように指示し、できるだけ原稿を読み上げる形式では講演させないようにした。

また、聴衆は収録スタッフも含め 3～5 人程度であり、収録スタッフにはできるだけ講演者をリラックスさせるよう指示した。

#### 3.2.1 収録スタジオ

国語研内に設置された音声収録スタジオ。収録スタッフも講演者とともにスタジオに入った。ただし「テーマなし」(S00)に関しては東京都内のオフィスビルにて収録を行った。

#### 3.2.2 収録スタッフ

主に 20 代～30 代前半のアルバイトや派遣社員が収録スタッフを担当した。人数は、2～4 人程度である。収録スタッフには、講演を行なう前に講演者と会話をするなどし、なるべく講演者がリラックスした状態で収録に臨めるようにさせた。また、収録スタッフは講演の最中にもうなずくなどして、講演しやすくするようにさせた。

#### 3.2.3 模擬講演のテーマ

以下に模擬講演のテーマ一覧を示す。以下のリストのうち、S01～S11の値は、『記録票データ・対話記録票データ・講演者属性データ・対話参加講演者の講演一覧の解説』(data\_attribute.pdf) で述べられている、講演の種別等を表わす講演 ID の先頭 3 文字である。

- S00 テーマなし
- S01 今までの人生を振り返って、あなたがうれしかった・楽しかった出来事
- S02 今までの人生を振り返って、あなたが悲しかった・つらかった出来事
- S03 あなたの住んでいる町や地域について
- S04 あなたがよく知っていること、興味・関心のあることの客観的説明
- S05 今までの人生を振り返って印象に残っていること
- S06 現在から過去数年の間に、新聞・雑誌などで扱われたニュース
- S07 無人島に持っていくもの 3 つ

- S08 ~のやり方, 作り方
- S09 ~の歴史
- S10 自分にとっていちばん大事なもの・人
- S11 21世紀に残したいもの・残したくないもの

### 3.2.4 講演者

人材派遣会社を通じて募集した講演者 模擬講演の講演者は主に人材派遣会社を通じて募集した一般の男女である。この際、男女比および講演者の年代(20代・30代・40代・50代)は、なるべくバランスするように募集した。また、人材派遣会社から募集した講演者は、1回の派遣につき S01~S11 までのテーマのうち3つを指定して講演させた。なお、複数回派遣された講演者もあり、一人の講演者に対して4講演以上収録している場合もある。

大学生・大学院生 上記の講演者とは別に、大学生・大学院生を中心とする講演者を募集した。これらの講演者は、テーマとして S01・S02・S03 の3つを与えられた。

通訳養成講座・アナウンサー養成講座を通じて募集した講演者 「テーマなし」(S00)の講演者は通訳養成講座・アナウンサー養成講座を通じて募集した。

学会講演の講演者 3.4節で述べる「再朗読」および3.5節で述べる「学会講演インタビュー」を収録した講演者には、模擬講演も行わせた。この模擬講演は、3.5節で述べる「模擬講演インタビュー」の話題とした。

### 3.3 その他

学会に準ずるものとして、以下の講演を収録した。収録状況等は学会講演に準ずる。以下のリストのうち、M01~M03の値は、『記録票データ・対話記録票データ・講演者属性データ・対話参加講演者の講演一覧の解説』(data.attribute.pdf)で述べられている、講演の種類等を表わす講演IDの先頭3文字である。

- M01 研究機関が一般聴衆を対象に企画した連続講演会
- M02 国語研究所が一般聴衆むけに開催した講演会
- M03 専門学校での日本語教師養成関係の講義

### 3.4 朗読

自発音声と朗読音声との違いをみるために、一部の講演者については朗読音声も収録した。収録会場は、模擬講演と同一の国語研のスタジオを用いた。その他、収録に関する状況は模擬講演に準ずる。

#### 3.4.1 朗読の種類

朗読の種類の一覧を掲げる。以下のリストのうち、R01~R06の値は、『記録票データ・対話記録票データ・講演者属性データ・対話参加講演者の講演一覧の解説』(data.attribute.pdf)で述べられている、講演の種類等を表わす講演IDの先頭3文字である。

- R00 再朗読
- R01 宇宙
- R02 DNA(男性用)
- R03 DNA(女性用)
- R04 春の死
- R05 NEW文化祭
- R06 ニュース

再朗読(R00) 再朗読は、同一話者の発話による同一の言語音が、自然発話と朗読とでどのように異なるかを見るために収録したものである。ただし、書き起こしテキスト(『転記テキストの仕様』,transcription.pdf参照)をそのまま朗読するのは困難である。そこで、書き起こしテキストを以下のような手続きで加工したものを講演者に呈示した。

- 基本形の情報のみを用いる
- 文節の区切り(転記の改行)ではスペースを入れる
- 「節相当」<sup>1</sup>の区切りで改行を入れる
- 「文末形式」<sup>2</sup>で空行を入れる
- フィラータグ(F)、語断片(D)タグは、そのまま残す
- 読みが複数あるような漢字に関しては、適宜ふりがなをふった。

具体例は図1参照。

<sup>1</sup>再朗読を実施した時期には、まだ節区切りデータが完成していなかったため、この「節相当」は必ずしも節区切りデータとは一致しない

<sup>2</sup>やはりこの「文末形式」は必ずしも節区切りデータとは一致しない

(F えー) それでは 早速 発表に 移ります

(F えー) 予稿集の (F えー) 百十二ページからの 部分を 御覧ください

(F えー) 我々は (F えー) 千九百九十七(1997)年より  
東西の二大都市圏として さまざまな 面で 対称的に 論じられる 関東と 関西において  
敬語使用に関しては どのような (D ことわり) 異なりが 見られるかを 明らかにし  
その 要因を 探る といったことを 目的として  
アンケート調査 および 面接調査を 行なっておりますが  
(F えー) 本発表は そのうちの アンケート調査について  
(F えー) 集計結果の 一部を 報告するものであります

図 1: 再朗読用朗読テキストの例

宇宙 (R01)・DNA (男性用)(R02)・DNA (女性用)(R03) 模擬講演に参加した一部の講演者に、1~2分程度の朗読を行わせた。テキストは以下の二つから抜粋した。

- 「宇宙」—— 野本陽代 (1998) 『宇宙の果てにせまる』, 岩波書店, pp.2-3.
- 「DNA」—— 中村桂子 (1994) 『あなたのなかの DNA』, ハヤカワノンフィクション文庫, pp.9-10.

ただし、後者は口語調の文章を多く含むため、講演者の性別にあわせて読みやすいように一部を変更した(「DNA (男性用)」と「DNA (女性用)」)。

春の死 (R04)・NEW 文化祭 (R05)・ニュース (R06) ディスクジョッキー・アナウンサーなどの職業従事者にエッセイ(春の死・NEW 文化祭)および模擬ニュースを朗読させた。なお、朗読原稿にはあらかじめ適宜ふりがなを振った「春の死」「NEW 文化祭」それぞれの原典は以下のとおりである。

- 「春の死」—— 吉本ばなな (1989) 『パイナップリン』, 角川書店, pp.50-52.
- 「NEW 文化祭」—— 乙武洋匡 (1998) 『五体不満足』, 講談社, pp.115-117.

また、模擬ニュース用の原稿のスタイルは、実際にラジオニュースで用いられている原稿と同じスタイルのものをを用いた。以上「宇宙」「DNA (男性用)」「DNA (女性用)」「春の死」「NEW 文化祭」「ニュース」それぞれの原稿を付録 A に掲載した。

### 3.5 対話

再朗読の音声を取録した講演者には、更に対話の音声を取録した。

#### 3.5.1 対話の種類

朗読の種類の一覧を掲げる。以下のリストのうち、D01~D04 の値は『記録票データ・対話記録票データ・講演者属性データ・対話参加講演者の講演一覧の解説』(data\_attribute.pdf) で述べられている、講演の種類等を表わす講演 ID の先頭 3 文字である。

D01 模擬講演インタビュー

D02 課題指向対話(ギャラタスク)

D03 自由対話

D04 学会講演インタビュー

模擬講演インタビュー (D01) インタビューの施行前に別途模擬講演を取録し、その内容に関してインタビュアーが講演者に質問した。インタビュアーは模擬講演の際に取録スタジオに同席し、適宜メモをとるなどしてインタビューの準備をした。模擬講演終了後からインタビュー開始までは、10分~20分程度の時間をあけた。

なお、どの模擬講演がどのインタビューに対応するかは、correspondence-data.csv に記した。

課題指向対話 (D02) インタビュアーとインタビュイーに、有名人の氏名と紹介文が書かれたリスト、または有名人の顔写真のみが載せられたリストを渡し、「掲載された有名人に1時間の講演を頼むとしたら幾らくらいのギャラが必要か推測し、ギャラの高い順に並べよ」というタスクを遂行させた。

有名人の顔写真・紹介文は、主に日本実業出版社(編)(2001)『最新有名講師・講演料700人情報』, 日本実業出版社。に依った。また、それぞれのリストは、タスク毎に取り換えた。資料の例を付録 B の図 3 および図 4 に掲げた。

リストはファイルに閉じた状態で対話参加者に渡した。どちらか一方のファイルには回答用紙も同梱した。ファイルは、タスク開始の合図で開けさせた。

双方に渡したリストでは、多くの場合に掲載されている有名人に若干の齟齬を含めた。そのため対話参加者はお互いのリストの中で一致する有名人を確認する必要があった。また多くの場合には、対話参加者のうち片方に一方には氏名と紹介文のリスト、もう一方に顔写真のみが載せられたリストを渡したが、双方に顔写真のみのリストを渡した場合もあった。

回答はファイルに回答用紙が同梱されていた側が回答用紙に記入し、終了後に取録作業者に手渡した。

自由対話 (D03) 全対話の最後に、感想を言い合うなどの自由な会話をさせた。インタビュアーには、できるだけ自然な会話をを行うように指示した。

学会講演インタビュー（D04） 『日本語話し言葉コーパス』に収録済みの学会講演のうち幾つかを抜きだし，その内容について学会講演を行った講演者に対してインタビューを行った．インタビュアーには事前に学会講演の予稿集を読ませ，インタビュー内容を構成させた．

### 3.5.2 収録スタジオ

国語研に設置されている対面ブースを用いた．話者はそれぞれ独立した防音ブースに入るが，ガラス越しにお互いの顔が見えるようになっている．お互いの音声は，イヤホンを通じて聞く（図2）

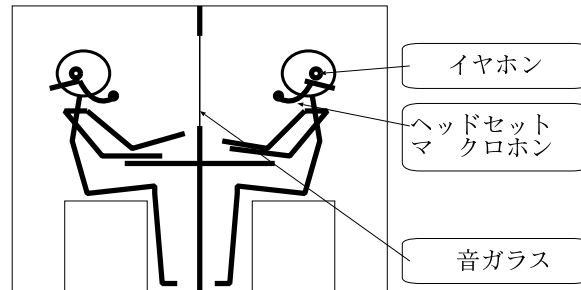


図 2: 対話収録の状況

### 3.5.3 インタビュアー

インタビュアーは，下記の 2 名である．最終学歴，居住経験等は講演者属性データ（`speaker data.csv`）を参照．なお，講演者 ID 1377 のインタビュアーはインタビューのみ音声のみを収録したが，講演者 ID 363 のインタビュアーは，別途模擬講演も収録している．

講演者 ID 1377 女性，1960 年代後半生まれ，フリーライター/編集者

講演者 ID 363 女性，1970 年代後半生まれ，アルバイト

## A 付録:朗読の原稿

### 宇宙 ( R01 )

#### 宇宙

私たちの住んでいる宇宙は、いったいどこまで広がっているのだろうか。いつ生まれて、いつまで存在するのだろうか。そこには、どんな天体があって、それらは将来どうなるのだろうか。古代ギリシアのむかしから、人々は宇宙について多くの問いを發してきた。しかし、私たちが宇宙の眞の姿に迫れるようになったのは、ごく最近のことである。

一九二九年、宇宙が膨張していることが観測によって確認された。これは二十世紀最大の発見の一つである。いまと変わらぬ宇宙が永遠のむかしからあって、永遠の未来まで存続する、というそれまでの常識は、この発見によって、吹っ飛んでしまった。宇宙は変化している、宇宙には歴史がある。これは驚きであった。

膨張しているということは、宇宙は今日より昨日のほうが、昨日より一昨日のほうが小さかった、ということだろう。つまり昨日、一昨日、去年、一昨年とさかのぼっていき、宇宙がこれ以上小さくなりようがなくなったとき、それが宇宙がはじまった日ということになる。それはいったいいつなのだろうか。

DNA (男性用) (R02)

DNA

となりの家のかな子ちゃんは女子大生。好奇心にあふれた、元気な女の子です。彼女がある日、聞きました。

— 先生、DNAって何ですか？

ん？

— DNAって、ほら、遺伝子なんでしょ。二重らせんで、ATGCで、遺伝子組換えが危ないっていわれたり、それからバイオテクノロジー。ビールも、洗剤も、口紅だってバイオの時代なんだから。

ずいぶん並べたね。だけど、口紅がどうしてバイオなの？ ATGCってなに？

— それがわからないんですよ。DNA、ヒトゲノム計画、遺伝子治療...まだまだ言葉だけはならべられるんです。でも、遺伝子がどうして口紅になっちゃうかがわからない。ヒトゲノムってふしぎな響きだけれど、なんだろう。じつは、図書館でDNAについての本を借りたんですよ。けっこうたくさんありました。そうしたら「DNAは利己的だ」とか「老化はDNAのたくらみ」とか、よけいにわからなくなっちゃった。先生、DNAって生きていますか？ 意志をもっているの？ DNAはどこにあるんですか？ シロウトの疑問に徹底的にこたえてもらったら「あ、そうか」と思えるかなって期待してきたんです。

わかった。そこまでいわれたら「納得しました」っていってもらえるような説明をしなくてはと気が引き締まるね。かなちゃん、DNAがわたしたちの体のなかにあるのは知っているかな？

— 遺伝子なんだから、きっとそうね。

地球上の生きものはみんなDNAをもっているということは？

— うーん。そうかな。ちょっと、あやしい。

では、DNAに寿命はあるかな？

— えー、わかんない。

DNA (女性用) (R03)

DNA

となりの家のかな子ちゃんは女子大生。好奇心にあふれた、元気な女の子です。彼女がある日、聞きました。

— 先生、DNAって何ですか？

ん？

— DNAって、ほら、遺伝子なんでしょ。二重らせんで、ATGCで、遺伝子組換えが危ないっていわれたり、それからバイオテクノロジー。ビールも、洗剤も、口紅だってバイオの時代なんだから。

ずいぶん並べたわね。だけど、口紅がどうしてバイオなの？ ATGCってなあに？

— それがわからないんですよ。DNA、ヒトゲノム計画、遺伝子治療...まだまだ言葉だけはならべられるんです。でも、遺伝子がどうして口紅になっちゃうかがわからない。ヒトゲノムってふしぎな響きだけれど、なんだろう。じつは、図書館でDNAについての本を借りたんですよ。けっこうたくさんありました。そうしたら「DNAは利己的だ」とか「老化はDNAのたくらみ」とか、よけいにわからなくなっちゃった。先生、DNAって生きていますか？ 意志をもっているの？ DNAはどこにあるんですか？ シロウトの疑問に徹底的にこたえてもらったら「あ、そうか」と思えるかなって期待してきたんです。

わかった。そこまでいわれたら「納得しました」っていってもらえるような説明をしなくてはと気が引き締まるわね。かなちゃん、DNAがわたしたちの体のなかにあるのは知っているかな？

— 遺伝子なんだから、きっとそうね。

地球上の生きものはみんなDNAをもっているということは？

— うーん。そうかな。ちょっと、あやしい。

では、DNAに寿命はあるかな？

— えー、わかんない。

## 春の死 (R04)

### 春の死

春とは本当に不思議な季節だな、とずっと思っていた。学校に通う年齢のうち、クラス替えだの、卒業だの、無理にでもやってくるそういう人生の区切りが「胸の痛むような気持ち」にさせるのねと思っていたけれど、学校がなくなってしまった今も、やはり春は変化を呼ぶ。精神的にも物理的にも、正月よりずっと「ゆく年くる年」だ。たくさんのお別れがある。

話はちょっと変わって、人は誰でも、どんなに心が丈夫な人でも「ものごとの暗黒面」ばかりを見てしまう時期や時間帯があると思う。意識する、しないは別としても人はみな一定のリズムに沿って生きているから、調子悪いなあ、と思うときは何となく決まっている。私にとってはそれは午後の2時くらいから5時くらいまで、悩みを抱えている時、その時刻は確実に悩みが大げサになる。ひどくめいていると「死にたい。」と思うこともある。それは死にとびこむという感じではなく、心の底から明日が来るのがいやになり、楽しいことは何一つない、自分で自分が気に食わない、何も心を動かさない、そういう感じの延長で、本気で人生が嫌いになるのだ。何か言霊が悪そうなのでこれ以上描写しないけれど、誰でも1回や2回はそういう、せとぎわってあるわよね。でも、そこで「死にたくなる」と「本当に死んじゃう」のは大々違いだ。あたりまえか。それにしても本当に息も絶え絶えな時間は3ヶ月以上は続かないはずだから、そこをくぐり抜けるかどうかかなだよね。多分ね。

先日古い友人が自殺してしまった。きっと彼は春の勢いに負けたんだと思う。心が冷えきっていると、春風は身をけずるように思えるものだ。きっと彼は、あと1秒も現実に参加したくなかったし、友達に電話をして自分の胸のうちの語る元気もなかったのでしょう。悲しいことだ。私は彼が、その夕方、死んでしまいたくなってから、本当に首をつるまでの心の動きを真剣に想像してみた。そうしたら、心から暗く、つらくなった。もちろん人の心の中は同化するほど理解できないけれど、友達ならある程度はわかる。誰にでも食い止められないところまで彼の心は追い込まれてしまった。とても淋しいことだ。

私も今年、引っ越しという大仕事を春に実行した。荷物の整理をしていたら、彼の声の入ったテープとか(聞かなかったけれどさあ) みんなで写ってるバカな写真とか、誕生日にもったガラスの小ブタとかが出てきて、100パーセントその人を惜しむ瞬間を持つ友人がいて、そして人には必ず何人もそういう人がいるはずだということの大切さを、全員が忘れないでね。

## NEW 文化祭 (R05)

### NEW文化祭

生徒会活動にも慣れてきた3年生の秋。いよいよ最後の文化祭だ。通常の文化祭はクラス対抗の合唱コンクールと、美術や技術・家庭で作った作品の展示という2本立て。生徒たちは、このふたつに向けて猛練習 & 居残り作成などをする。

そこでボクたちは考えた。みんなが一生懸命に取り組んで、それで終わりという文化祭よりも、何か楽しめるようなアトラクションを企画したい。ちょうど、その年に体育館が新築され、「新体育館完成記念」と、口実にはもってこいだ。「楽しい文化祭。思い出に残る文化祭」これが合い言葉だった。

今までどおりの文化祭を準備するのでも、たいへんなこと。ただ、これまでの2年間の経験もあるし、先輩たちがやってきたことも見てきた。開催に際しての段取りも覚えたつもりだ。例年どおりの文化祭を行うだけなら自信はあった。しかし、今回は新たな取り組み。言ってみれば「NEW文化祭」だ。経験もなければ、過去の資料もない。すべてが初めてのことに尽くめ。企画の段階から頭を悩ませた。いつ頃までに何を決定し、何を準備しなければならないのかというスケジュールも不安要素のひとつだった。

だが、同時に楽しかった。誰もが初体験な分、「みんなで創っている」という実感を味わえた。会場への入場曲ひとつ決めるのにも「あーでもない、こーでもない」とたいへんな騒ぎだった。

「元気になるような曲がいいよ。『24時間、戦えますか』(某ドリンク剤のCMソング。当時、大ヒットしていた)なんてどうかな」「やっぱり、しっとりした名曲。ピリー・ジョエルの『HONESTY』なんかいいな」

1階の廊下の突き当たりに「生徒会室」という部屋があった。3年生で部活も引退したボクらは、授業が終わるとそこへ直行。額を突き合わせ、文化祭へ向けてあれこれ知恵を絞っていた。

当日のアトラクションの部分が決まった。クラス対抗で争う、ゲーム形式のものを用意することにした。というのも、合唱コンクールの練習のために、最もクラスの団結が固くなっているのが、この時期なのだ。そこで、クラス対抗で遊べるようなものを用意したら、大いに盛り上がるだろうし、思い出にも残るだろうと考えたのだ。

先生方も、最初はいい顔をしなかった。しかし、最後は、ボクらに自由に決めさせてくれた。ここまで一生懸命に仕事をしてきた「ご褒美」だったのかもしれない。

通常の文化祭のプログラムを終え、生徒たちが体育館に集まる。いよいよ、イベントの始まりだ。各クラスの代表者が、壇上に上がる。机の上に並べられた洗面器のなかに顔を突っ込み、何秒間、耐えられるかを競うゲームなどをした。さすがに、年配の先生方の顔には、不快な表情が見取れた。

だが、会場は盛り上がった。合唱コンクールが終わった後のクラスの異様に盛り上がった雰囲気、そのまま終わらせるのはもったいない。なんとか生かせないものだろうかと考えていたボクらの思惑は、見事に当たった。だが、そのボクらも、ここまで熱狂的に盛り上がるとは思っていなかった。

たしかに、「文化祭」の内容としては、ふさわしいものではなかったのかもしれない。ただ、生徒たちの望んでいるもの、ボクらのやりたかったことを達成できたということでは、満足のいく「文化祭」だった。やっぱり、イベントは楽しくなくっちゃ。だって、ボクは「お祭り男」なんだから。



原稿題名：青森地検 贈賄事件で再捜索

内容：

青森県警察本部の元警視が、運送会社の元副社長らから現金千二百万円余りの賄賂を受け取ったとして書類送検された事件で、青森地方検察庁は、今日改めて強制捜査に乗り出し、元警視の自宅などを捜索しています。この事件は、青森県警察本部交通部の高木貞三（タカギ テイゾウ）元警視（五十八）が、昨夜、詐欺などの疑いで逮捕された青森運輸の元副社長らから、現金千二百万円余りの賄賂を受け取ったとして、先月十五日に書類送検されたものです。青森地方検察庁は、便宜供与がなかったかなど事件の全容を解明するため、今朝から改めて強制捜査に乗り出し、高木元警視の自宅や青森運輸の元本社などを捜索しています。

青森地検の強制捜査について、青森県警察本部の加藤要（カトウ カナメ）刑事部長は、「地検とはこれまでも合同で捜査を行い事件の解明に努めている」と述べるにとどまりました。

青森地検によりますと、これまでの捜査では、高木元警視らの日誌や行動予定など個人的な資料が少なく、贈賄側との接点が十分に解明できていないうえ、高木元警視に送られたとされる賄賂の出所（でどころ）を裏付ける会社の経理資料も不足しているということです。

こうしたことから、青森地検では改めて強制捜査を行うことによって、高木元警視からの便宜供与がなかったかどうか、など事件の核心部分の解明を進めることにしています。ところで、青森運輸は、企業としての社会的責任を全うしたいとして、会社を自主的に解散することを今日までに決め、現在、清算に向けた手続きを進めています。

改ページ

原稿題名：元長野県警警察官に実刑判決

内容：

長野県警察本部の元警察官が、在職中に交際していた女と一緒に覚醒剤を使用していた、などとして覚醒剤取締法違反の罪に問われている事件で、長野地方裁判所は元警察官に懲役二年四ヶ月の実刑判決を言い渡しました。

この事件は、長野県警察本部の生活安全特別捜査隊に勤務していた、元警部補の三浦英治（ミウラ エイジ）被告（四十九歳）が、去年の七月に長野県松本市のホテルで、当時交際していた女と一緒に覚醒剤を使った、などとして覚醒剤取締法違反に問われているものです。

今日の判決で、長野地方裁判所の清藤英子（セイトウ エイコ）裁判官は、「被告は交際していた女に覚醒剤をやめさせようとしたが、それができないと分かると自分も一緒に使用するようになった。現職の警察官としてはもちろん、一般人としてもあってはならないことで、酌量の余地はない。」として三浦元警部補に懲役二年四ヶ月の実刑判決を言い渡しました。

この事件で三浦元警部補は逮捕された直後に懲戒免職になっています。

改ページ

原稿題名：東海原発で集塵装置から煙 放射能漏れの恐れなし

内容：

茨城県東海村にある東京電力東海原子力発電所によりますと、今日午前十時四十分頃、東海原発二号機のタービンがある建物の中で、金属製の低レベル放射性廃棄物を切断する作業をしていたところ、作業によって出る塵を吸い込んで空気をきれいにする装置から煙が出ました。

東京電力で消火を行った結果、午前十一時までに煙はおさまったということです。東京電力によりますと、放射能漏れの恐れはないということです。

また、東海原発の二号機、一号機とも通常どおりの運転を続けているということです。

東京電力では、現在原因を調べていますが、「金属を切断中に熱をもった塵によって空気をきれいにする装置の中のフィルターが焼けたのではないかと話しています。

改ページ

原稿題名：医師国家試験の合格率 九割台に

内容：

今年の医師国家試験の合格者が今日発表になり、合格率は九〇.四パーセントと試験が年一回になった昭和六十年以降、最も高い合格率となりました。医師国家試験の合格者は、今日午後二時から東京霞ヶ関の厚生労働省をはじめ、全国九カ所で発表されました。

今年の合格者は、八千三百七十四人で合格率は九十.四パーセントと去年を十一パーセントも上回り、試験が年一回になった昭和六十年以降最も高い合格率となりました。

男女別の合格率は、男性が八八.八パーセント、女性が九十四パーセントで、合格者のうち女性が二千六百五十九人と、全体の三十一.八パーセントを占め、これまでで最も多くなりました。

一方、合格者の最高齢は、六十二歳の女性で平成十年の試験で、合格した同じく六十二歳の男性と並んで、これまでで最も年齢の高い合格者になりました。医師国家試験は今年から出題基準が変わり、問題の数がこれまでの三百二十問から五百問に増やされる、などの見直しが行われていました。

改ページ

原稿題名： 両陛下 震災記念公園を視察

内容：

兵庫県を訪問している天皇皇后両陛下は、今日、淡路島の北淡町（ホクダンチョウ）にある、阪神大震災で地表に現れた野島断層（ノジマダンソウ）を視察されました。

両陛下は今日午前、北淡町の震災記念公園に到着し、震災の犠牲者を悼んで建てられた慰霊碑に拝礼されました。

両陛下は、続いて野島断層保存館を視察されました。

野島断層は、阪神大震災で地表に表れた活断層の一部で、長さ十キロにわたって地面のずれが起きました。保存館には、このうち百四十メートルの断層が保存され、国の天然記念物に指定されています。

両陛下がこの断層を視察されるのは今回が初めてで、震災記念公園の植松剛（ウエマツ ツヨシ）顧問の説明を受けながら、断層によって大きくゆがんだ道路の跡を見て、「この道路はまっすぐだったんですか」と尋ねたり、「こうした歪みはどのように生じるのですか」などと詳しく質問されていました。

改ページ

原稿題名： 火星の季節による気象変化 明らかに 米の無人探査機観測

内容：

火星では、巨大な砂あらしが起きたり、北極や南極付近の地表を覆う薄い氷が溶けたり、広がったりするなど、季節によるさまざまな気象の変化が起きていることが明らかになりました。

これは、火星の軌道を回っている NASA・アメリカ航空宇宙局の無人探査機「マーズ・グローバル・サーベイヤー」の観測によって明らかになったものです。

探査機が今年六月に、火星の北極付近をとらえた映像では、地表を覆う褐色の細かい砂が、上空八キロの高さまで巻き上げられ、竜巻のように渦巻きながら移動していく様子が撮影されました。

また、北極や南極付近の砂丘では、地表の薄い氷が溶けたり、広がったりしていく様子も観察されました。

NASAでは、こうした観測情報から、火星にも独自の季節があり、さまざまな気象の変化が起きていることが明らかになったとしており、年内に火星の軌道に到着する予定の別の二つの探査機を使って、さらに詳しい調査を行うことにしています。

改ページ

原稿題名： 埼玉県春日部市の藤 一般に公開

内容：

樹齢が千二百年あまりといわれ、国の特別天然記念物に指定されている埼玉県春日部市の藤の花が、一般に公開されています。この藤は、春日部市牛島の民間の庭園「東海園（トウカイエン）」に植えられている、クシヤクフジという品種です。地元では牛島の藤と呼ばれて親しまれています。

樹齢千二百年あまりといわれるこの藤は、花の房が長いもので二メートル近くに達し、七百平方メートルにもなる藤棚一面が薄紫色の花に包まれています。

庭園は、今月二十一日から来月十三日まで一般に公開されていて、訪れた人たちは、散歩を楽しみながら美しい藤の花を見てまわっています。

今年の藤はいつもの年より開花がやや早く、今月末の連休前半が見ごろになりそうです。

改ページ

原稿題名： 株と為替 東京市場全面高

内容：

今日の東京株式市場は、幅広い銘柄に買い注文が入り、ほぼ全面高の展開になっています。

市場全体の値動きを示す、東証株価指数 TOPIX は、昨日よりも二十四・六四と大幅に上がって千三百十・一七で午前の取引を終えました。

要銘柄の平均株価午前の終値は、昨日より四百六十七円七十銭 高い、

一万三千五百三十四円七十九銭でした。

前の出来高は、四億三千十六万株でした。

京市場がほぼ全面高になっているのは、十七日に発表された、アメリカの大手半導体メーカー・インテルの決算の内容が、市場の予測を上回ったことで、アメリカの株式市場が、ハイテク関連を中心に今後落ち着くのではないかと、という安心感が広がっているためです。

一方、東京外国為替市場は、海外の投資家などが当面の利益を確保するため、ドルを売って円を買う動きを強め、円相場は値上がりしています。

現在は、昨日に比べて六十二銭円高ドル安の、一ドル百二十二円九十二銭から百二十三円〇二銭で取引されています。

B 付録:対話の資料

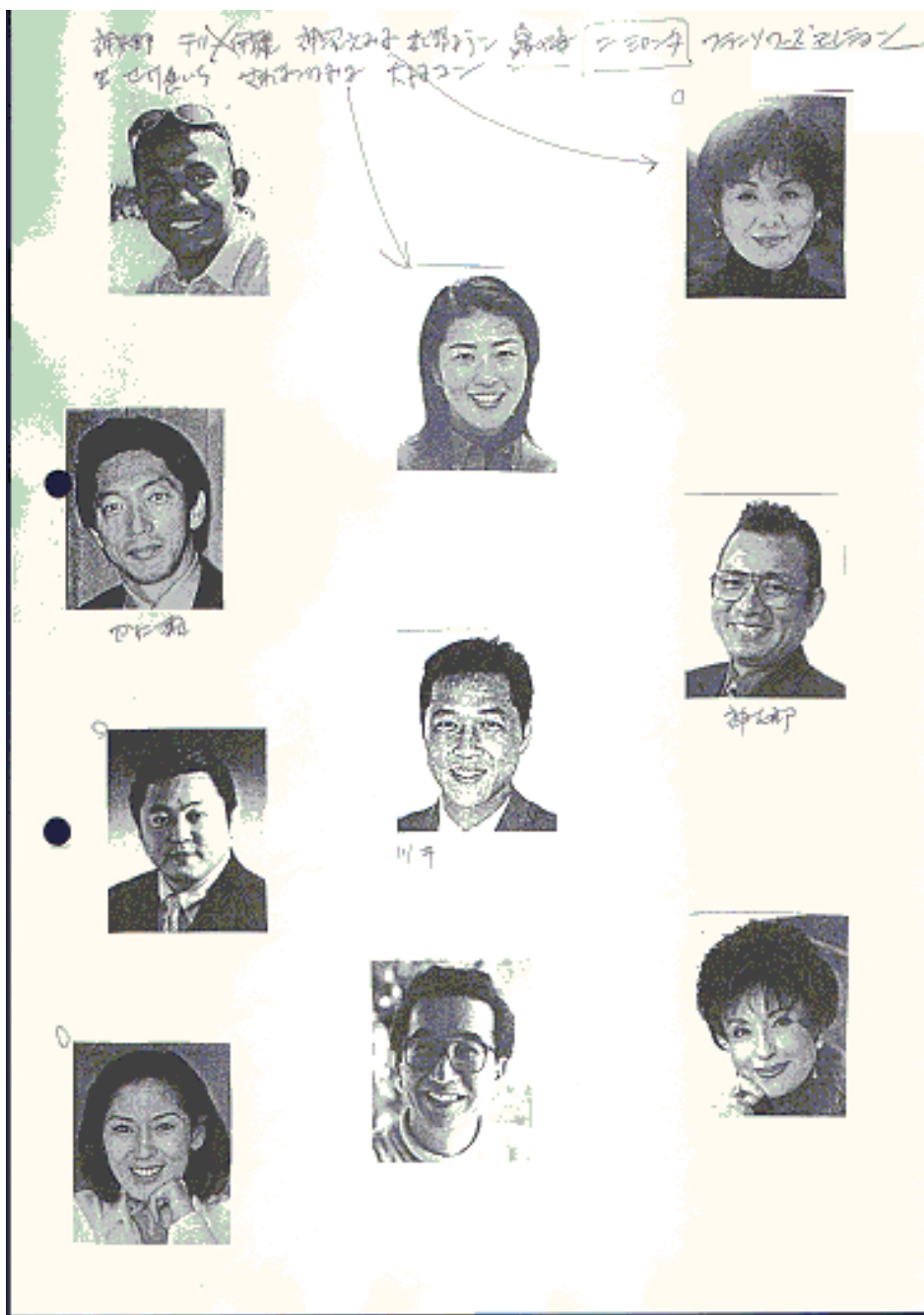


図 3: 課題指向対話資料(顔写真リスト)

実際に課題指向対話で使用したもの. 有名人のリストを一致させるための, 対話参加者による書き込み等が見られる.

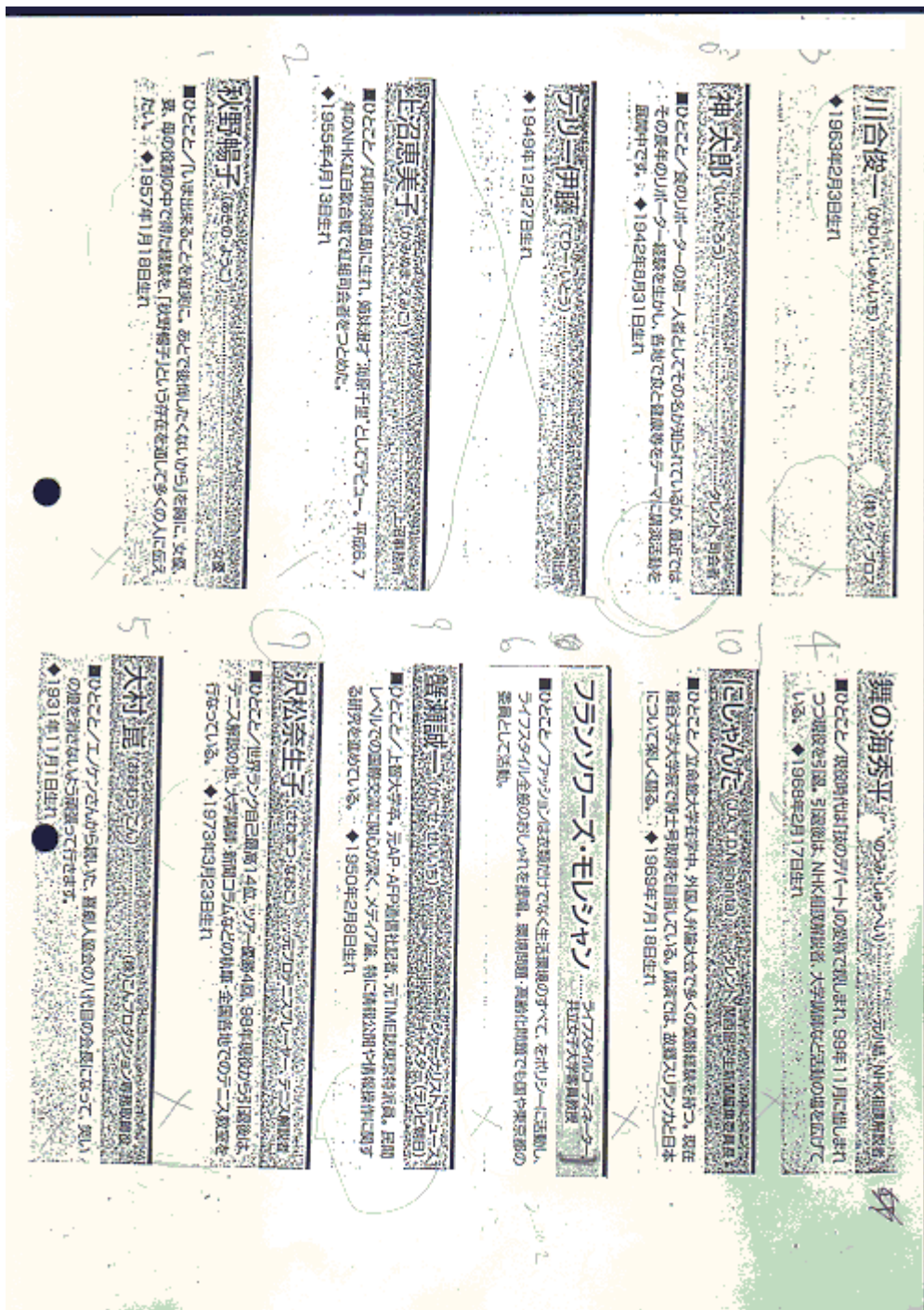


図4: 課題指向対話資料(氏名・紹介文リスト)

実際に課題指向対話で使用したものの、有名人のギャラの順番を決めるため協議した際の、対話参加者による書き込み等が見られる。